

平成29年度 事業報告書

I 事業報告

1 事業概要

平成29年度の日本経済は、海外経済が回復する下で、輸出や生産、個人消費や民間設備投資が持ち直すなど民需が改善し、経済の好循環が実現しつつある中で、緩やかな景気の回復がみられた。

埼玉県内の景気は、緩やかな回復が続いており、県内中小企業の先行きには、やや慎重さがみられたものの、持ち直しに向かう動きもみられた。

このような中、当社は、今後の成長が期待される産業の振興や、企業の国内・海外での販路開拓支援など、中小企業の発展と県内産業全体の活性化に資する様々な事業の展開に努めた。

平成29年度に実施した主な取組の概要は以下のとおりである。

(1) 企業支援

① 経営支援

自社の現状分析や課題の整理、業績や経営資源の向上など、県内中小企業が抱える様々な課題に対応するため、企業からの各種相談に応じたほか、専門性が高い課題の解決を支援するため専門家派遣を実施した。

② サービス産業の振興

サービス産業事業者を対象にICT活用アドバイザーが、集客・売上拡大や生産性向上のためのICT導入・活用についてアドバイスを実施した。

(2) 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者を対象とした相談業務や、各ステージに合わせた創業セミナーを開催するとともに、ベンチャー企業の成長を促進するためセミナー等を開催した。また、国の補正予算により創設された創業補助金の地域事務局（埼玉事務局）を運営した。

(3) 販路開拓支援

① 取引振興

さいたまスーパーアリーナを会場とする大規模な展示商談会や、近県と連携した広域的な商談会、県内各地域での商談会などを幅広く開催するとともに、職員等が発注企業を巡回訪問して新規発注案件を発掘し、受注企業とのマッチングを図った。

② 航空・宇宙産業への参入支援

今後成長が期待できる航空・宇宙産業への参入を促進するため、国内外の展示会への出展や航空機部品を製造する際に必要な資格取得を支援するとともに、販路開拓につながる航空機メーカーなどとのマッチングを実施した。

③ 海外展開支援

県内中小企業の海外市場への進出を支援するため、実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談や様々なセミナー、情報交換会を実施したほか、海外展示会において海外企業との商談をセッティングするなど県内中小企業の海外展開を支援した。

(4) 新産業振興

① 先端産業支援

「医療イノベーション」、「新エネルギー（次世代住宅）」、「ロボット」などの先端産業に取り組む企業を支援するための総合相談窓口を開設するとともに、各分野のプロジェクト等を実施することで実用化・製品化開発を支援した。

② 中小企業IoT活用支援

県内中小企業がIoTシステムを活用し生産効率化などに取り組むための総合相談を実施した。また、IoT活用の普及・啓発を図るためのセミナーや人材育成を目的にしたIoT人材育成講座、IoTを活用し生産性向上や付加価値向上につなげる仕組みを構築する経費の一部を補助した。

③ 産学連携支援

県内中小企業やベンチャー企業の研究開発と大学や研究機関等の研究分野をマッチングさせるため、相談窓口を開設するとともに、競争的研究資金の獲得を支援するなど、産学連携による研究開発を総合的に支援した。

④ 知的財産支援

県内中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進するため、ワンストップで知的財産に関する相談業務に対応するとともに、弁理士等の専門家を企業に派遣し、個別課題の解決を支援したほか、知的財産に関する啓発や知識の向上を目的としたセミナーなどを実施した。

⑤ 次世代自動車産業支援

県内の自動車関連企業に対し、次世代自動車の技術研究や既存自動車の高効率化、軽量化に向けた技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路拡大などを総合的に支援した。

(5) 人材育成・情報支援

各階層別の研修や実務的な研修を総合的・体系的に実施し、県内中小企業の人材育成を支援するとともに、情報誌やセミナーなどを通じて企業経営に役立つ情報を幅広く提供した。また、ICTコンサルティング等を実施して中小企業におけるICTの有効活用を支援・促進した。

2 評議員会開催状況

日付	事項	摘要
平成29年 4月 1日	第1回評議員会	評議員及び理事の選任
平成29年 6月 7日	第2回評議員会	平成28年度事業報告及び決算並びに評議員の選任

3 理事会等開催状況

日付	事項	摘要
平成29年 4月 1日	第1回理事会	専務理事の選定
平成29年 5月15日	監事監査	平成28年度事業報告及び決算報告の監査
平成29年 5月23日	第2回理事会	平成28年度事業報告及び決算等
平成29年10月20日	第3回理事会	平成29年度事業中間報告及び理事長専決事項の報告
平成30年 3月19日	第4回理事会	平成30年度事業計画及び予算並びに平成30年度事業費の借入限度額等

4 評議員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
評議員	渡 辺 充	平成29年4月 1日	
評議員	伊 藤 光 男	平成29年6月 7日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
評議員	立 川 吉 朗	平成29年4月 1日	
評議員	星 野 進	平成29年6月 7日	

5 役員の異動状況

就 任

役 職 名	氏 名	就 任 年 月 日	備 考
専務理事	前 沢 幸 男	平成29年4月 1日	
理 事	岡 橋 達 哉	平成29年4月 1日	

退 任

役 職 名	氏 名	退 任 年 月 日	備 考
専務理事	岩 田 靖 人	平成29年4月 1日	
理 事	岩 田 一 男	平成29年4月 1日	

Ⅱ 事業実施状況

1 企業支援

(1) 経営支援

① 経営相談の実施

職員等による窓口相談、弁護士による法律相談を実施した。

相談件数	主な相談内容	
2, 373件	経営全般（下記以外を含む）	1, 437件
	I S O	318件
	取引適正化	206件
	マーケティング	120件
	I T活用	120件
	B C P	87件
	労務	85件

② 支援専門家の派遣

ア 専門家派遣を行うため、支援専門家の登録を実施した。

支援専門家の登録者数	内 訳	
648人 (平成30年3月末現在)	中小企業診断士	268人
	企業等OB人材	205人
	技術士	55人
	マネジメントシステム専門家	51人
	I T関係専門家	50人
	公認会計士・税理士	34人
	社会保険労務士	32人
	弁護士・司法書士・弁理士	25人
	販売士	24人
	一級建築士	2人

*複数資格保有者がいるため、登録者数と内訳の合計は一致しない。

イ 経営、技術、情報などに関する課題解決のため、支援専門家を活用して診断助言を実施した。

(ア) プロジェクトマネージャー、サブマネージャーの配置 4名

(イ) 支援企業数、派遣日数等

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
47社	280日	<ul style="list-style-type: none"> 多品種少量生産の工程改善、現品管理改善 H A C C P義務化に向けた衛生管理の基礎知識の習得と意識改革 5 S活動による無駄の徹底削減 など

ウ 経済産業省関東経済産業局で実施している「地域プラットフォーム事業ミラサポ」の専門家派遣を活用して、経営革新に取り組む中小企業に対して診断助言を実施した。

支援企業数	派遣日数	主な支援テーマ
49社	94日	<ul style="list-style-type: none"> マーケティングコミュニケーション 病院、介護施設等院内監視ロボットのA Iシステム構築に向けた知財調査 生産拠点集約検討に関する支援 など

③ 事業継続計画（BCP）導入支援

災害等の発生時に迅速な事業復旧を進めるため、中小企業における事業継続計画（BCP）の普及啓発及び策定支援を実施した。

セミナーの開催

開催日	テーマ	講師	参加者数
9月7日	BCP普及啓発セミナー	松島 康生 氏	45人
12月5日	BCP作成講座	松島 康生 氏	37人

④ 若手経営者支援【フォース21】

県内中小企業の後継者・若手経営者の交流クラブ「フォース21」を運営し、経営トップとしての資質の向上、人的ネットワークづくりや情報収集体制の構築等について支援するため、定例会及びテーマ別研究会を開催した。（平成30年3月末現在10グループ、127名）

内容	実績
定例会の開催	3回
テーマ別研究会の開催	
企業版ふるさと納税研究会	1回
精神修行研究会	1回
グループ別例会	54回

⑤ マネジメントシステム導入支援

ア マネジメントシステム導入支援

ISO等のマネジメントシステムを構築しようとする中小企業へのコンサルティングを実施した。

事業名	実績	概要
マネジメントシステム導入支援	12社	派遣回数 82回 ＜支援先内訳＞
		IS09001 7社
		IS014001 1社
		BCP(中小企業庁版) 4社

イ ISOフォローアップ支援

ISO認証取得企業へのフォローアップを実施した。

事業名	実績	概要
ISOフォローアップ支援	23社	派遣回数 169回 ＜支援先内訳＞
		IS09001 12社
		IS014001 1社
		IS09001とIS014001の統合 10社

ウ 環境法規制関連情報提供

公社会員を対象に、環境法規制の関連情報を提供した。

利用会員数
78社

⑥ 経営診断等事業

公所在籍の中小企業診断士を活用し、川口市、戸田市から中小企業の診断業務等を受託した。

事業名	実績	概要
地域貢献事業者診断	5件	企業 5社
起業個別相談会	12日	相談件数 9件
新技術診断（戸田市）	1件	製造業

⑦ 事業承継支援

事業承継の重要性を周知するとともに、事業承継相談に対応するため、中小企業基盤整備機構との共催により事業承継セミナーを開催した。

開催日	テーマ	講師	参加者数
3月8日	成功事例から学ぶ事業承継のポイントとお金のはなし	富永 治 氏(独立行政法人中小企業基盤整備機構 関東本部 事業承継コーディネーター)	17人

⑧ よろず支援拠点事業

県内中小企業・小規模事業者の経営支援体制をさらに強化するため、国の中小企業・小規模事業者ワンストップ総合支援事業を受託し、埼玉県内の「よろず支援拠点」の実施機関として、総合的・先進的経営支援を実施した。

ア チーフコーディネーター、コーディネーターの配置	16名
イ よろず支援拠点相談対応件数	8,154件
ウ よろず支援拠点課題解決件数	1,278件

⑨ 中小企業高度人材支援事業（プロフェッショナル人材戦略拠点）

県内中小企業が、高度な「プロフェッショナル人材」を活用して、新たな取組に積極的に挑む「攻めの経営」へ転換し、経営革新を進めることを促進するため、プロフェッショナル人材戦略拠点を運営し、人材のマッチングをサポートした。

ア マネージャーの配置	5名
イ 相談件数	522件
ウ マッチング成約件数	80件

⑩ 上尾市企業連携コーディネーター事業

上尾市との委託契約により、上尾市内の中小製造業者を中心とした県内製造業者を対象に、企業が連携して行う新製品開発や一貫受注の取組を支援するとともに、個別企業が抱える課題の解決を図った。

ア 企業連携コーディネーターの配置	2名
イ 企業訪問	34社
ウ 新製品開発	4件

(2) サービス産業の振興

① サービス産業ICT活用支援

サービス産業事業者向けに具体的なICT導入方法や活用事例を見える化、ICT活用効果の理解拡大を図り、サービス産業事業者のICT導入を推進した。

ア アドバイザーの配置	2名
イ 相談件数	153件
ウ セミナーの開催	3回

② フードビジネスの支援

県の主要産業である食品関連産業の更なる成長を支援するため、業界動向の提供や企業間交流を促進した。

セミナー・交流会の開催

2回

2 創業・ベンチャー支援

創業予定者や新規創業者、ベンチャー企業の成長を支援するために「創業・ベンチャー支援センター埼玉」を運営し、利用者の各ステージに合わせた様々な相談業務を行った。

また、創業に必要な知識を体系的に学ぶためのセミナーの開催や、ベンチャー企業の成長を促進するためにビジネスマッチングを図った。

① 創業相談支援

創業前、創業時、創業後の相談者の各ステージの課題解決を図るため、経験豊富な開業アドバイザー（7人）などを配置して相談に対応するとともに、より専門的な相談に対しては、司法書士や税理士等の士業団体との連携による専門相談会を実施した。

ア 相談件数

	実績
相談件数	2,394件 (うち 専門相談 30件 女性創業相談 1,246件)

イ 公的融資申請支援件数

内容	申請受付件数
埼玉県制度資金	19件
日本政策金融公庫	46件

ウ 創業件数

	実績
創業件数	205件

図1：相談内容区分

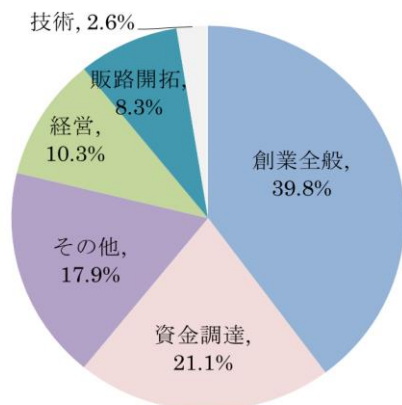
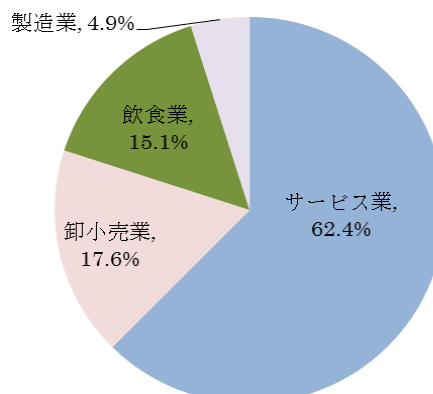


図2：創業者の業種区分



② セミナー等の開催

創業までの心構えから創業後のマーケティング等まで、創業の各ステージに合わせたセミナー等を開催した。

内 容	開 催 日	参加者数
起業へ一歩前進セミナー	① 4月18日	25人
	② 1月11日	11人
起業実務手引きセミナー	① 4月22日	27人
	② 7月 8日	22人
	③ 1月20日	33人
起業家体験談セミナー	6月27日	11人
自社（商品）PR方法セミナー	① 8月 7日	17人
	② 12月13日	3人
ブランド力構築セミナー	11月 8日	17人
店づくりの秘訣公開セミナー	10月11日	18人
販促の考え方セミナー	7月19日	20人
売上アップのためのインターネット活用セミナー	① 7月14日	31人
	② 2月20日	25人
売れるチラシ作成セミナー	11月28日	15人
「A4」1枚の販促アンケートで売れる広告セミナー	5月26日	18人
自社ホームページ開設セミナー	8月28日	39人
ネットショップ開業基礎セミナー	9月13日	28人
iPhoneカメラ活用セミナー	11月17日	11人
店舗物件探しのコツセミナー	9月29日	16人
初めての確定申告セミナー	12月 7日	14人
「雇用ノウハウ」セミナー	3月23日	10人
IT活用セミナー	2月 7日	24人
創業準備セミナー（入門編）	① 5月13日	12人
	② 7月22日	17人
	③ 11月18日	17人
	④ 2月17日	21人
起業準備セミナー（基礎編）	① 6月10日	15人
	② 9月16日	14人
	③ 12月 9日	9人
	④ 3月17日	18人
会社設立希望者向けセミナー	① 8月 5日	16人
	② 2月10日	10人
マーケティングセミナー（基礎編）	① 6月24日	20人
	② 10月14日	8人
セカンドキャリア起業セミナー	12月 2日	74人

内 容	開 催 日	参加者数
セカンドキャリア起業スクール	① 12月16日	52人
	② 1月27日	47人
	③ 2月3日	48人
計	38回	833人

③ 女性の創業支援

ア 女性起業支援施設の運営

「女性起業支援ルームCOCOオフィス」を管理・運営し、アドバイザー（2人）により利用者からの相談に対応するとともに実践的なセミナーを開催した。

- (ア) 利用者数 25名（3月31日現在）
 (イ) 相談件数 119件（女性創業相談を含む）
 (ウ) COCOセミナー等 8回 参加者数 52名

イ 女性創業支援チームの運営

女性創業支援アドバイザー（3人）などを配置し、女性のビジネスの立ち上げ時から成長期までの創業相談などに対応した。

相談件数 826件（女性創業相談を含む）

ウ 女性創業スタートアップ塾

開 催 日	延べ参加者数	会 場
9月9日～10月14日（5日間）	81人	新都心ビジネス交流プラザ （さいたま市）
1月25日～2月22日（5日間）	49人	ウエスタ川越（川越市）

エ 地域女性創業セミナー

地域	開 催 日	参加者数	会 場
西部地域	11月21日	3人	ウエスタ川越（川越市）
北部地域	12月15日	4人	熊谷文化創造館さくらめいと（熊谷市）
南部地域	1月22日	16人	新都心ビジネス交流プラザ（さいたま市）

オ 市町村連携女性プチ起業セミナー

市町村	開 催 日	参加者数	会 場
春日部市	6月22日	36人	春日部市民活動センターふれあいキューブ
鶴ヶ島市	9月22日	29人	鶴ヶ島市女性センター ハーモニー
さいたま市	11月15日	30人	さいたま市立中央図書館
狭山市	2月8日	18人	狭山市産業労働センター

④ ベンチャー成長支援

ア 彩の国ベンチャーマーケットの開催

資金調達や販路開拓、事業提携などの課題を抱えるベンチャー企業を対象に、ベンチャーキャピタルや金融機関、大手企業、行政機関等との出会いの場を設け、ビジネスマッチングを図った。

開催日	事業名	支援企業数	来場者数
1月25日	彩の国ベンチャーマーケット	6社	83人

イ ベンチャー支援セミナーの開催

独創的なビジネスモデルや経営戦略を実践している起業家や経営者を講師に迎えたセミナーを開催した。

開催日	内容	参加者数	備考
6月17日	【ビジネス交流会】 マイナスをプラスに変える経営哲学 講師：石坂産業株式会社 代表取締役 石坂 典子 氏	105人	共催：NPO法人さいたま 起業家協議会
3月22日	【「論語と算盤」塾】 世界の一流企業が見習う「年輪経営」 ～いい会社をつくりましょう たくましく そしてやさしく～ 講師：伊那食品工業株式会社 代表取締役副社長 塚越 英弘 氏 氏	101人	共催：新都心ビジネス交流 プラザ運営協議会

⑤ 創業補助金埼玉県事務局運営

国の平成24年度及び平成25年度補正予算により創設された創業補助金の地域事務局を運営した。

3 販路開拓支援

(1) 取引振興

① 取引情報の収集・提供

厳しい経営環境下にある受注企業の取引機会の拡大を図り、健全な発展を促進するため、積極的な企業巡回訪問により受発注ニーズの把握に努めるとともに、発注企業の外注計画や受注企業の設備状況等に関する調査を実施した。また、中小企業が抱える取引上の様々な相談に対応し、下請取引の適正化を図った。

ア 受発注企業の登録促進

発注・受注企業の登録状況 (単位：社)

区 分		発注企業	受注企業	合 計
28年度末の登録		1,778	3,217	4,995
29年度中 の増減数	新規	29	25	54
	削除	39	49	88
29年度末の登録		1,768	3,193	4,961

受発注企業巡回訪問の状況

事業名	実績	概要
受発注企業巡回訪問	535社	アドバイザーによる巡回訪問 313社
		職員による巡回訪問 222社

イ 調査情報提供

取引あっせん・紹介を行うための基礎情報として、主要発注登録企業における外注計画等の動向を把握するための調査や、受注登録企業における最新の設備・取引状況等の実態を把握するための調査を行った。

事業名	実績	概要
新規外注計画調査	2回	発注企業を対象に新規外注計画等を調査 ① 5月10日～17日 調査対象企業 969社 回答企業 116社 (回答率12.0%) うち発注希望あり75社 (64.6%)
		② 11月24日～12月1日 調査対象企業 958社 回答企業 150社 (回答率15.7%) うち発注希望あり101社 (67.3%)
受注登録企業設備調査	1回	受注登録企業を対象に保有設備等を調査 10月12日～20日 調査対象企業 1,000社 回答企業 488社 (回答率48.8%)

ウ 企業情報の発信

インターネットを利用して広域的な受発注取引の促進や新たな取引機会の拡大を図るため、情報発信を希望する企業を公社のホームページに掲載した。

内容	実績	概要
企業情報の発信	860社	公社ホームページに企業情報を掲載

エ 異業種グループ支援

異業種グループの定例会等に参加し、情報提供とともに中小企業のニーズ把握に努めた。

オ かけこみ寺相談事業

下請取引に関する様々な相談に応じた。

相談件数	主な相談内容
275件	代金支払遅延、契約解消 ほか

② 展示商談会の実施

受注企業の取引機会の確保を図るため、さいたまスーパーアリーナを会場として中小企業の加工技術・製品等を展示し広くPRする「彩の国ビジネスアリーナ2018」を実施した。

また、関東5県ビジネスマッチング商談会、九都県市合同商談会を実施して広域的な取引機会の拡大を図った。

ア 商談会の開催等

事業名	実績
彩の国ビジネスアリーナ 2018	1月24日～25日 さいたまスーパーアリーナ 出展数 819小間（企業、団体、グループ660社） 来場者 17,156人
広域商談会	関東5県ビジネスマッチング商談会 9月26日 東京ビッグサイト 発注企業 128社／受注企業234社うち県内49社 商談件数 274件 九都県市合同商談会 11月17日 東京ビッグサイト 発注企業 108社／受注企業210社うち県内44社 商談件数 198件
展示会出展支援	機械要素技術展 6月21日～23日 東京ビッグサイト 出展企業 10社 商談件数 1,303件 メッセナゴヤ2017 11月8日～11日 ポートメッセなごや 出展企業 4社 商談件数 104件 国際ナノテクノロジー総合展 2月14日～16日 東京ビッグサイト 出展企業 4社 商談件数 303件
地域別商談会	西部地域ミニ商談会 9月28日 所沢市民文化センター 発注企業 22社／受注企業 31社 商談件数 142件 川口市受発注企業商談会 10月27日 埼玉県産業技術総合センター 発注企業 15社／受注企業 27社 商談件数 84件 県央・利根地域 広域ビジネス商談会 12月1日 羽生プラザ 発注企業 11社／受注企業 25社 商談件数 62件 上尾版ビジネス交流会 10月12日 上尾市文化センター 発注企業 5社／受注企業 18社 商談件数 37件 東部地域ビジネスマッチングフェア 2月26日 ふれあいキューブ 発注企業 17社／受注企業 23社 商談件数 81件

③ 取引あっせん

企業からの取引あっせん依頼への対応、展示商談会の実施等により、161件の取引を成立させた。

あっせん件数及びあっせん結果

(単位：件)

あっせん件数			あっせん結果			
本年度	前年度からの繰越分	合計	成立	不成立	折衝中	合計
3,471	4,038	7,509	161	4,230	3,118	7,509

(2) 航空・宇宙産業への参入支援

① 航空機関連セミナーの開催

航空機産業への参入を促進するために、技術動向や参入に関するセミナーなどを実施した。

事業名	実績
航空機産業参入研究会	6月13日 講演 航空機部品産業における 生産管理・品質保証ガイドブックの活用 講師 ①北廣 雅之 氏 (経済産業省 航空機武器宇宙産業課) ②渡邊 靖 氏 (三菱重工業(株)) 参加者 31社・42名
	10月10日 講演 日本の航空機産業の最新動向と今後の展望 講師 伊藤 一宏 氏 (日本航空宇宙工業会) 参加者 26社・27名
	11月21日 三菱重工業(株)名古屋誘導推進システム製作所の視察 参加者 23社・26名
	1月29日 講演①スマートファクトリ実現に向けた取組 ～IHIが進める航空機部品 一貫生産におけるIoTの活用～ 講師 鈴木 和彦 氏 ((株)IHI) 講演②中小製造業向けIoT導入ソリューション 講師 都築 俊行 氏 ((株)ジェイテクト) 参加者 22社・25名
先端技術講演会	3月 7日 講演①空飛ぶクルマプロジェクト 講師 中村 翼 氏 (CARTIVATOR) 講演②ラストマイル自動走行の実証評価 講師 加藤 晋 氏 (産業技術総合研究所) 参加者 11社・11名

② マッチング支援

航空機産業への参入を促進するために、販路開拓につながる国内外の展示会への出展を支援したほか、航空機メーカー等とのマッチングを実施した。

展示会名	実績
エアロマート名古屋2017	9月26日～28日 出展企業 5社 商談件数 66件
彩の国ビジネスアリーナ2018	1月24日～25日 出展企業 5社 商談件数 9件
シンガポールエアショー2018	2月 4日～10日 出展企業 3社 商談件数 35件

事業名	実績
櫻護謨(株)との集団マッチング	5月15日 参加企業 5社 商談件数 5件
台日航空機産業技術交流会 (相手方：台湾企業5社)	7月 3日～7日 参加企業 3社 商談件数 14件
SAFRAN社(仏)招へい	7月19日 参加企業 1社 商談件数 1件
台日航空機産業技術交流会 (相手方：台湾企業10社)	10月22日～26日 参加企業 4社 商談件数 34件
台日航空機産業技術交流会 (相手方：台湾企業6社)	11月29日～30日 参加企業 2社 商談件数 12件
(株)神戸工業試験場との技術交流会	12月15日 参加企業 1社 商談件数 1件
福爾摩沙航太有限公司 (台湾)招へい	3月12日 参加企業 2社 商談件数 2件

③ 航空機関連資格取得支援

航空機部品を製造する際に必要な国際的な認証資格(JISQ9100、Nadcap)の取得を促進した。

JISQ9100認証取得助成金交付 1社

④ 一貫受注体制の構築支援

企業のグループ化による一貫受注体制の構築支援を実施した。

埼玉県航空・宇宙産業一貫生産体制構築支援事業助成金交付 2件

⑤ I o T導入支援

航空機関連企業におけるI o T導入事例や今後の計画などの動向について情報収集した。

(3) 海外展開支援

① 中小企業国際化支援

ア 海外事業相談 相談実績431件

実務経験豊富なアドバイザーによる貿易投資相談(毎週 火・水・木曜日)、埼玉県上海ビジネスサポートデスクなど埼玉県が海外に設置する支援拠点への取次相談、職員等による相談を活用して、企業の海外展開に関する様々な相談に応じた。

イ セミナー・交流会・研究会等の実施

グローバル市場で勝てる中小企業を育成するため、国・地域別の経済情勢などに関するセミナーを開催するほか、交流会や情報交換会等を通じて、中小企業間及び中小企業と支援機関との連携を強化し、中小企業の国際競争力の向上を図った。

(ア) 国際ビジネスセミナー 開催実績 11回 参加者合計 567人

開催期日	セミナー名	参加者数
5月15日	香港経済セミナー	43
6月15日	インドネシア経済セミナー	41
6月27日	台湾経済セミナー	43
9月7日	ベトナム経済セミナー	64
9月28日	タイ経済セミナー	40
10月17日	中国経済セミナー	41
11月21日	加工食品輸出セミナー	21
12月15日	国際ビジネスセミナー「激変する世界構造と日本～今、埼玉からアセアン・インドに進出する～」	143
1月12日	愛知淑徳大学真田幸光教授が語る「世界・アジア・日本経済の現状と今後の見通し」セミナー	55
2月20日	アセアン経済セミナー	32
3月20日	外国人材活用セミナー	44

(イ) 企業間交流会・情報交換会の開催 開催実績 3回 参加者合計 92人

開催期日	内 容	参加者数
6月2日	第1回 中国事情情報交換会	30
11月9日	エクセレントカンパニー交流会	42
2月2日	第2回 中国事情情報交換会	20

(ウ) 国際情勢勉強会（愛知淑徳大学 真田教授を囲む会） 開催実績 11回 参加者 466人

(エ) 中小企業海外展開研究会「輸出塾」 開催実績 10回 参加者合計 116人

輸出を目指す企業による研究会「輸出塾」「フード輸出塾」を設置し、ワークショップなど実践的な勉強会や情報交換を実施した。

ウ 海外での現地支援事業

埼玉県が県内企業の海外展開を支援するため中国、ベトナム、タイに設置しているサポートデスクや、国内外に配置しているマッチングコーディネータと連携し、中国・アセアン市場進出等をサポートした。

概 要	取次件数	主な取次内容
サポートデスクとの連携 (中国、ベトナム、タイ)	83件	取引先発掘・紹介 28件 情報提供 33件 専門家紹介 9件 など
マッチングコーディネータとの連携 (インドネシア、香港)	9件	取引先発掘・紹介 6件 その他 3件

エ 海外ビジネスマンターの派遣 派遣先企業数5社 派遣回数8回
海外ビジネスに取り組もうとする中小企業経営者に対し、海外ビジネスに成功している企業経営者を派遣し、アドバイスをを行った。

オ 海外認証資格取得支援
欧州、米国及び中国での製品販売に必要な国際的な認証資格（CEマーク、UL規格、ISO13485ほか）の取得を促進した。
CEマーク認証取得助成金交付 1社
CEマーク認証取得助成金交付候補指定 1社

② マッチング支援

今後の経済成長が見込まれる中国・アセアン等新興国においてビジネス展開できるよう支援するとともに、市場の拡大が期待される航空機産業分野への販路開拓を支援した。

ア 海外での展示商談会出展支援

(ア) インドネシア技術交流会の開催

期 間：7月17日～20日

場 所：インドネシア・ジャカルタ

参加企業： 4社、商談件数： 16件

(イ) 香港食品展示会（フードエキスポ2017）出展支援

期 間：8月15日～20日

場 所：香港

参加企業：10社、商談件数：380件

(ウ) 台湾技術交流会の開催

期 間：8月21日～24日

場 所：台湾・台中ほか

参加企業： 4社、商談件数： 40件

(エ) 中国総合機械展示会（2017中国国際工業博覧会）出展支援

期 間：11月6日～12日

場 所：中国・上海

参加企業： 1社、商談件数：128件

(オ) ベトナム総合機械展示会（メタレックス ベトナム 2017）出展支援
期 間：10月10日～15日
場 所：ベトナム・ホーチミン
参加企業： 9社、商談件数：532件

(カ) タイ総合機械展示会（メタレックス 2017）出展支援
期 間：11月20日～26日
場 所：タイ・バンコク
参加企業： 3社、商談件数：215件

(キ) 台日航空機産業技術交流会の開催
期 間：①7月3日～7日 ②10月22日～26日
場 所：台湾・高雄
参加企業： 7社、商談件数： 48件

(ク) 国際航空ショー（シンガポールエアショー 2018）出展支援
期 間：2月4日～10日
場 所：シンガポール・チャンギ
参加企業： 3社、商談件数： 35件

(ケ) 台湾医療技術交流会の開催
期 間：3月15日～18日
場 所：台湾・高雄ほか
参加企業： 3社、商談件数： 15件

イ 国内での海外企業とのマッチング支援

(ア) 台日友好交流埼玉商談会の開催
期 間：10月24日
開催場所：さいたま市（埼玉大学）
参加企業： 9社、商談件数： 78件

(イ) 台日航空機産業技術交流会の開催
期 間：11月29日～30日
場 所：川越市ほか（参加企業の事業所）
参加企業： 4社（航空機分野2社、その他2社）
商談件数：24件（航空機分野24件、その他24件）

(ウ) 彩の国ビジネスアリーナ 2018 「グローバルゾーン」設置
期 間：1月24日～25日
開催場所：さいたま市（さいたまスーパーアリーナ）
参加企業：14社、商談件数：209件

- (エ) 埼玉県食品メーカー展示商談会
 期 間：3月6日
 開催場所：さいたま市（大宮ソニックシティ）
 参加企業：43社、商談件数：120件

4 新産業振興

(1) 先端産業支援

先端産業に関する総合相談や開発動向等の紹介を行う「先端産業支援センター埼玉」を運営するとともに、医療イノベーション、新エネルギー、ロボット、ナノカーボンの各分野のプロジェクト等を実施することで、先端産業分野に取り組む企業を総合的に支援した。

① 先端産業支援センター埼玉の運営

「先端産業支援センター埼玉」にコーディネータ、アドバイザーを配置し、技術指導、企業マッチング、補助金の活用などの総合相談を実施するとともに、「埼玉県先端産業創造プロジェクト」の取組状況や開発動向等を紹介する展示コーナーを運営した。

内 容	実 績
相談件数	2, 104件
展示コーナー見学者数	8, 889人

② 医療イノベーション事業

県内ものづくり企業と医療機器メーカー、病院、大学等と連携しながら医療現場のニーズに即した新たな医療機器等の開発や医療機器産業への参入を目指す企業を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータの配置 8名
 (イ) 相談件数 1, 067件

イ 医療機器三者連携開発モデル構築事業

「医療機関」（ニーズ）、「ものづくり企業」（開発）、「製販企業」（マーケティング）の三者の連携による「売れる」医療機器の開発を支援した。

(ア) 三者連携構築のためのニーズマッチング

開催日	ニーズ提供医療機関	参加者数
7月 5日	ニーズマッチングin埼玉県立がんセンター	57名
9月 4日	ニーズマッチングin埼玉県立小児医療センター	76名
10月17日	ニーズマッチングin埼玉県総合リハビリテーションセンター	44名
11月 7日	ニーズマッチングin自治医科大学附属さいたま医療センター	64名
12月 4日	ニーズマッチングin東埼玉病院リハビリテーション科	41名
2月 3日	ニーズマッチングin埼玉医科大学病院	38名

(イ) 展示会・商談会

2月23日 本郷展示会 with 技術交流会 127名参加

ウ 医療機器開発支援セミナー 2回開催

開催日	内容	参加者数
6月 8日	・医療機器産業で成功するための秘訣 ・検査装置、センシング技術の開発事例	43名
11月24日	・日本品質保証機構安全電磁センター見学	27名

エ 在宅医療機器研究会 3回開催

開催日	内容	参加者数
7月 3日	・在宅医療を取り巻く現状 ・医療現場から見た在宅医療介護機器の課題	53名
9月 6日	・在宅医療介護機器のリスクマネジメント ・在宅医療機器のニーズ	62名
1月15日	・平成30年度診療報酬改定を踏まえた 在宅医療機器の課題と将来展望	54名

オ 医療機器メーカー見学会 1回開催

開催日	内容	参加者数
12月19日	・アコマ医科工業株式会社大宮工場見学	18名

カ 展示会・学会への出展支援

開催日	内容	参加企業数
4月19日 ～21日	Medtec Japan 2017 (東京ビッグサイト)	10社
6月 8日 ～10日	リハビリテーション医学会 (岡山コンベンションセンターほか)	5社
11月20日 ～22日	HOSPEX Japan 2017 (東京ビッグサイト)	8社
12月 7日 ～ 9日	日本内視鏡外科学会 (国立京都国際会館)	4社
1月24日 ～25日	彩の国ビジネスアリーナ2018 (さいたまスーパーアリーナ)	8社
3月23日 ～25日	日本循環器学会 (大阪国際会議場)	3社

③ 次世代住宅参入促進事業

県内中小企業と住宅メーカー、大学等との連携による住宅用創エネ・省エネ・蓄エネの製品・技術の研究開発を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータの配置 3名
(イ) 相談件数 425件

イ 次世代住宅産業プロジェクト

平成26年度から28年度までの期間で実施したプロジェクト（1次エネルギー削減目標▲50%）と、平成29年度から30年度までの期間で実施する、以下の（ア）から（エ）までのプロジェクト（同▲50%）を併せて「ゼロエネルギー住宅」を目指す。

- (ア) 自然エネルギー運用技術と連動する省エネ装置の開発
 居住者の行動を学習する機能を持たせ、生活パターンに合わせた省エネ動作を自動で行う装置
 4社・1大学・2研究機関が参加 技術開発部会を6回開催
- (イ) 高効率マルチ出力電源装置の開発
 太陽光発電を含む電源の入出力とバッテリーの充放電量をコントロールし、高効率な運用を実現する装置
 4社・1大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催
- (ウ) 太陽光・熱ハイブリッド型パネルの開発
 太陽光発電と太陽光集熱器の一体型パネル
 6社・1大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催
- (エ) 高効率床暖房システムの開発
 加熱範囲のきめ細かい ON/OFF 制御と高速加熱を可能にした薄型ヒーターパネル方式の床暖房
 5社・2大学・1研究機関が参加 技術開発部会を6回開催

(オ) 技術開発研究会

テーマ名	開催日	参加者数
自然エネルギー運用技術と連動する省エネ装置の開発	10月 4日	42名
	2月20日	44名
高効率マルチ出力電源装置の開発	9月22日	40名
	2月21日	23名
太陽光・熱ハイブリッド型パネルの開発	10月 5日	43名
	3月 6日	25名
高効率床暖房システムの開発	10月11日	29名
	2月27日	21名

④ ロボットプロジェクト推進事業

成長が見込まれるロボット分野における新たな技術の研究開発や実用化・製品化を支援した。

ア 総合相談の実施

- (ア) コーディネータ等の配置 4名
 (イ) 相談件数 201件

イ 分野別研究会

- (ア) リハビリ・介護ロボット研究会 6回開催
 (イ) 農業ロボット研究会 4回開催

(ウ) ロボットビジネス実践講座 5回開催

(エ) ロボティクスシーズマッチング 2回開催

大学等の持つ最先端のロボット関連技術シーズと企業のものづくり技術とのマッチングを通じて、県内企業のロボット産業への参入を支援した。

開催日	シーズ提供大学	参加者数
11月16日	東京電機大学	49名
2月23日、2月27日、 3月15日、3月22日	芝浦工業大学	4社

⑤ ナノカーボンプロジェクト推進事業

今後様々な応用製品が期待されるナノカーボン分野の研究開発等を支援した。

ア 総合相談の実施

(ア) コーディネータ等の配置 3名

(イ) 相談件数 263件

イ ナノカーボン人材育成事業 全8回

⑥ ナノカーボン表面処理技術開発プロジェクトの推進

CBC（低温黒色クロメート）にCNT（カーボンナノチューブ）の熱伝導性や電導性の特徴を付加し、様々な分野での活用が期待される表面処理技術の実用化に取り組んだ。

開催日	内容
6月29日	第1回開発推進委員会
9月4日	第2回開発推進委員会
11月24日	第3回開発推進委員会
1月19日	第4回開発推進委員会
2月22日	第5回開発推進委員会

⑦ 炭素繊維強化熱可塑性樹脂素材（CFRTP）プロジェクトの推進

新タイプのCFRTP基材を開発し、材料特性を活かしたドローン回転翼の実用化に取り組んだ。

開催日	内容
5月23日	第1回開発会議
9月7日	第2回開発会議
12月27日	第3回開発会議

(2) 中小企業IoT活用支援

県内ものづくり企業等のIoT活用に関する相談に応じるためIoTコーディネータを3名配置するとともに、IoT活用の最新情報及び活用事例を紹介するセミナー等を実施した。

① IoT活用に向けた支援

ア 総合相談の実施

(ア) IoTコーディネータの配置 3名

(イ) 相談件数 352件

イ IoT活用推進協議会の設置・開催 3回

ウ IoT普及セミナーの開催

IoTに関する最新技術動向や活用事例を紹介するセミナーを開催した。

開催日	テーマ	参加者数
4月11日	「先進的IoT 活用によるスマートものづくり」 「H29年度IoT支援事業について」	75人
6月21日	「スマートコネクテッドを実現するIoTとアナリティクス最前線」 「IoTで現場力を向上させよう」	51人
9月12日	【熊谷開催】 「IoTを知る。IoTを目で見る」 「人・モノ・設備のIoTで製造現場が変わる『Visual Factory』」	35人
11月16日	【川越開催】 「IoTを知る。IoTを目で見る」 「人・モノ・設備のIoTで製造現場が変わる『Visual Factory』」	19人
12月13日	「アマゾンのIoTビジネスを支えるAWS・イノベーションのご紹介」 「6年連続赤字から3年連続黒字へ！奇跡の復活IBUKIによるIoTを活用したビジネス改革」	29人
2月9日	【越谷開催】 「IoTを知る。IoTを目で見る」 「人・モノ・設備のIoTで製造現場が変わる『Visual Factory』」	33人

エ IoT人材育成講座の開催

中小企業が自社にIoTを導入する人材を育成する講座を開催した。

開催日	内容	参加者数
6月13日	IoT実践講座①（スタートアップ）	16人
7月19・20日	IoT基礎講座（経営者層向け）	29人
9月4・5日	IoT技術講座①（導入担当者向け）	13人
9月8日	IoT実践講座②（導入の実践状況報告）	13人
12月8日	IoT実践講座③（導入の実践状況報告）	11人
12月18日	経営者必見！IoT導入 超入門講座	7人
2月15・16日	IoT技術講座②（導入担当者向け）	11人
3月9日	IoT実践講座④（導入の成果報告）	13人

② スマート工場化支援

I o Tシステムの導入を促進するため、構築経費の一部を補助した。

採択企業	テーマ
(株) 大王製作所三郷工場	計量機と基幹システムを相互に結び入在庫・棚卸作業時間9割削減
(株) ジェイ・オー・シー羽生	スキャナー・センサー・サーバー導入による日報作成簡素化システム
関口産業(株)	R F I Dを利用したトレーサビリティ管理による在庫削減と生産性の向上
(有) 大宗製作所	R F I Dを用いた生産管理システムによる在庫・出荷エリアのI o T化
(株) テイエムシイ	I o Tを活用した進捗管理と生産性の可視化による高効率生産体制の確立

(3) 産学連携支援

県内中小企業の新製品・新技術開発、新規産業への参入促進、技術競争力の強化を図るため、「産学連携支援センター埼玉」を運営し、中小企業からの産学連携相談、大学・研究機関とのマッチング、競争的資金の獲得など、産学連携に係る総合的支援を実施した。

① 産学連携相談等の実施

「産学連携支援センター埼玉」にコーディネータを配置し、県内中小企業からの産学連携相談に応じるとともに、産学連携ネットワークマネージャーを配置し、大学・研究機関とのマッチング、共同研究体の形成や競争的資金の獲得などの支援を実施した。

内 容	実 績
産学連携相談件数	1, 0 2 8 件
マッチング支援数	1 6 2 件
産学共同研究取組支援数	1 6 件
競争的資金獲得支援数 (※)	2 7 件 (うち獲得件数1 3 件)

※競争的資金獲得支援(獲得)件数はよろず拠点の支援も含む

また、中小企業を対象としたセミナーを開催し、補助金等に関する最新の情報提供を実施した。

開 催 日	テーマ	内 容	参加者数
2月22日	産学連携支援セミナー	<ul style="list-style-type: none"> ・経済産業省による公募型競争的資金の最新情報とポイント ・ものづくり補助金の申請書作成の留意点とポイント ・補助金活用企業による事例発表 	55名

② 産学連携支援ネットワーク事業

県内で産学連携に取り組む機関から構成される埼玉県産学連携支援ネットワーク会議を運営し、情報交換や県内中小企業を対象としたセミナーを実施した。

開催日	テーマ	内容	参加者数
6月20日	第1回 産学連携支援 ネットワーク 会議 「総会」	<ul style="list-style-type: none"> ・平成28年度事業報告 ・平成29年度事業計画 ・構成機関における平成29年度産学連携事業 	40名
8月25日	第1回産学連携技術シーズ 発表会 「食ビジネス」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：埼玉県産業技術総合センター北部研究所 専門研究員 仲島 日出男 氏 演題：「埼玉県産小麦を使用した麺の味・香り成分に関する研究－高付加価値食品の開発を目指して－」 ●講師：埼玉工業大学 工学部 生命環境化学科 教授 秦田 勇二 氏 演題：「食品産業に対する微生物の応用」 ●講師：芝浦工業大学 システム理工学部 生命科学科 教授 福井 浩二 氏 演題：「マウスの行動実験に基づく食品の新規有効成分の解明」 ●講師：(国研)理化学研究所 中野 雄司 氏 演題：「野菜や穀類に含まれる植物ブラシノステロイドによる哺乳類の免疫賦活効能」 ●講師：日本大学 生物資源科学部食品ビジネス学科 教授 木島 実 氏 演題：「フードビジネスにおけるマーケティング戦略とその実践」 ●講師：(株)河村屋 代表取締役 染谷 庄一郎 氏 演題：「外国人向け漬物マーケティング戦略を通じた、当社の人材育成プロジェクト」 	60名
9月21日	第2回 産学連携支援 ネットワーク 会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度 第1回 産学連携技術シーズ発表会の実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●第2回 産学連携技術シーズ発表会のテーマ案について 	38名

開催日	テーマ	内 容	参加者数
1 1 月 2 4 日	第 2 回産学連携技術シーズ発表会 「製造技術」	<ul style="list-style-type: none"> ●講師：埼玉工業大学 工学部 機械工学科 講師 長谷 亜蘭 氏 演題：「製造現場 I o T 化のためのアコースティックエミッション計測技術」 ●講師：芝浦工業大学 システム理工学部 電子情報システム学科 教授 井上 雅裕 氏 演題：「M2M/I o T プロトタイプ構築支援システムの開発」 ●講師：日本大学 理工学部 教授 内木場 文男 氏 演題：「マイクロマシン技術の概説と小型化による製品の付加価値化の事例、I o T への参入」 ●講師：埼玉県産業技術総合センター 技術支援室 機械技術担当 主任研究員 小熊 広之 氏 演題：「オゾン酸化処理による CFRTP の強度向上」 ●講師：東京電機大学 工学部 自然科学系列 教授 長澤 光晴 氏 演題：「熱物性値同時測定法の開発」 ●講師：ものづくり大学 ものづくり研究情報センター センター長 技能工芸学部製造学科 教授 小塚 高史氏 演題：「製造現場改善を实践でアドバイスする、「ものづくり現場活性化支援事業」の紹介」 ●講師：(株)都ローラー工業 研究開発事業部 事業部長 工学博士 町田 成康氏 演題：「産学官支援事業により開発した高機能性常温 DLC コーティング技術とその応用」 	5 1 名
1 2 月 1 9 日	第 3 回産学連携支援ネットワーク会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●第 2 回産学連携技術シーズ発表会実施報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●第 3 回産学連携技術シーズ発表会について 	3 1 名
1 月 2 4 ・ 2 5 日	第 3 回産学連携技術シーズ発表会 ※産学連携フェア会場内で実施	<ul style="list-style-type: none"> ●当日は 2 日間で 1 0 大学研究機関 1 6 テーマの技術シーズを発表 	2 8 3 名

開催日	テーマ	内 容	参加者数
2月 7日	第4回 産学連携支援 ネットワーク 会議 「連絡会議」	<ul style="list-style-type: none"> ●平成29年度 第3回 産学連携技術シーズ発表会の実績報告について ●発表会・交流会参加大学機関のご意見ご感想について ●第4回産学連携技術シーズ発表会について 	26名

③ 産学連携に関する情報提供、交流の促進

大学・研究機関の技術シーズの展示紹介や企業とのマッチングを行う産学連携フェアを開催するとともに、メールマガジンによる情報発信を行った。

内 容	実 績
産学連携フェア <彩の国ビジネスアリーナ2018会場内で開催> 開催日 : 1月24日～25日 開催場所: さいたまスーパーアリーナ 出展機関: 大学10、研究機関4、支援機関2	来訪者数 1,809名 相談件数 719件
産学連携支援メールマガジン	配信回数 14回

(4) 知的財産支援

中小企業等の知的財産の創造・保護・活用を促進して「知的財産立県づくり」を進めるために「知的財産総合支援センター埼玉」を運営し、知的財産に係る相談業務をワンストップで行った。

① 知的財産の相談支援

知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを知的財産アドバイザー（7人）、特許活用コーディネータ（1人：兼務）として配置し、相談に対応するとともに、知財普及員を1名配置し、案件の掘り起こしを行った。併せて、専門性の高い相談に対しては、弁理士・弁護士による専門相談を実施した。

また、知的財産アドバイザーによる出張相談会を県内8会場において実施したほか、特許活用コーディネータ（1人）による技術ニーズに対する知財マッチングを行った。

内 容	実 績
相 談 件 数	2,847件<国からの受託事業 1,989件を含む> (うち専門相談 81件) (うち出張相談会 106件) (うち知財普及員による訪問100件)
出張相談会開催回数	33回 (川口、朝霞、川越、所沢、東松山、熊谷、春日部、越谷で各4回、本庄1回)
技術ニーズに対する知財マッチング件数	2件

【相談内容（区分別）】

図 1：知的財産区分

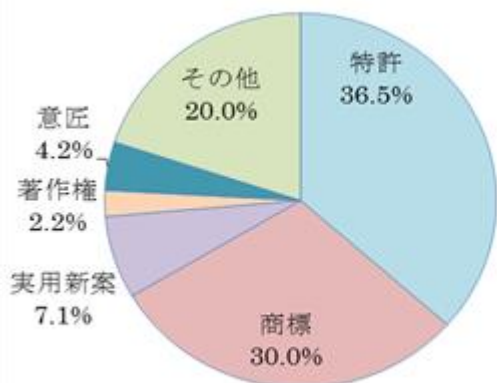
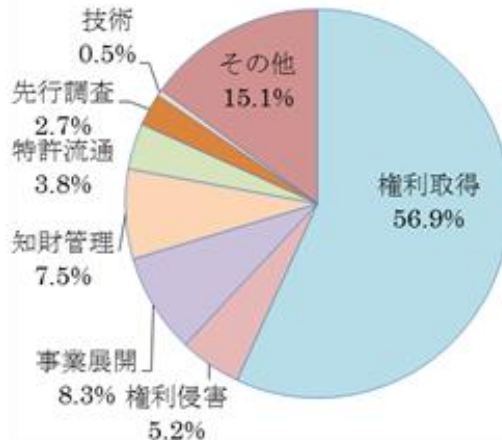


図 2：相談区分



② 知財経営促進・人材育成

ア 知財専門家の派遣

知的財産を企業経営の中で戦略的に活用するため、弁理士等を派遣して、中小企業の知的財産に関する具体的な課題の解決を支援し、有望な知的財産の創造や効果的な保護・活用を促進するとともに、中小企業の知財活用体制強化に向けた支援を行った。

支援企業数	支援回数
25社	57回

イ 外国出願支援事業

優れた特許等を有し、かつ、海外において戦略的に活用しようとする県内中小企業に対し、弁理士と連携を図り、外国特許庁への出願支援を行った。

国別の出願状況は、米国6件、中国5件、欧州2件、韓国2件、ロシア1件、マレーシア1件、メキシコ1件、カナダ1件、台湾1件である。

支援企業数	内 訳
12社	国補助 (特許8件、商標6件)

ウ 企業内知財人材養成講座

中小企業において、知財経営推進の核となる知財人材を養成するため、訪問による講座を実施した。

具体的には、知財の基本事項、特許情報プラットフォーム（J-P l a t P a t）の活用方法、知財戦略等を講座の内容とした。

支援企業数
5社

エ 各種セミナー

知的財産に関する啓発や知識の向上を目的に、関係機関等と連携して海外知財制度セミナー、知財経営セミナー、知財入門セミナー等を合計5回開催した。

開催日	内容	参加者数	共催
1月24日	【知財支援窓口特別講演】 「下町ロケットから学ぶ中小企業の知財戦略のススメ」	97人	独立行政法人工業所有権情報・研修館
10月25日	【知財経営セミナー】 「中小企業にとっての知財の活かし方」	24人	広域関東圏知的財産戦略本部 (関東経済産業局)、特許庁、埼玉県
3月23日	「会社を元気にする商標活用術」	31人	
9月22日	【知財入門セミナー・地域】 知的財産セミナー 「第1回知らずに貯まった企業の財産気づいて増やす知恵講座」 <さいたま会場>	15人	日本弁理士会関東支部
1月26日	「第2回知らずに貯まった企業の財産気づいて増やす知恵講座」 <川口会場>	16人	

③ その他

ア 知財総合支援窓口設置事業

独立行政法人工業所有権情報・研修館（INPIT）から窓口運営業務を受託し、知的財産に関する幅広い知識・経験を有する民間企業OBを相談対応者及び窓口支援担当者（知的財産アドバイザーを兼ねる：7人）として配置し、知財に関する総合相談に対応した。

【再掲】

内容	実績
相談件数	1,989件

(5) 次世代自動車産業支援

自動車の技術革新に伴う部品開発の転換や他産業からの新規参入が進むよう「次世代自動車支援センター埼玉」を運営し、自動車の電動化・軽量化等に伴う技術開発、製造現場の改善、国内外の自動車メーカー等への販路開拓の促進など総合的な支援を実施した。

① 技術等に関する総合相談

「次世代自動車支援センター埼玉」にコーディネータを3名配置し、県内自動車関連企業からの自動車技術に係る相談にワンストップで応じるとともに、新技術・新製品開発の「きっかけづくり」から研究開発を促進するための公的競争的資金獲得支援まで総合的な支援を実施した。

内容	実績
技術等に関する相談件数	737件
技術マッチング件数	172件

② 自動車技術に関する研究開発の支援

ア 新製品・新技術研究会

自動車の電動化などに対応した部品開発の転換や、電機関連メーカー等の新規参入を支援するため、モータやパワーエレクトロニクス、軽量化技術に関する研究会を開催した。

(ア) モータ・パワエレ・水素エネルギー研究会 (参加企業19社)

開催日	テーマ	参加者数
6月14日	日産インテリジェント・モビリティ～日産が考える今後のクルマの方向性～／自動車の電動化加速に伴う電池業界の動向と今後の展望	56人
9月6日	Hondaにおける燃料電池自動車の開発と水素社会への取り組み／水素社会実現に向けた取り組みについて／燃料電池タクシーや燃料電池バスの導入と水素インフラの整備	52人
11月17日	省エネルギーで電気自動車を駆動できるモータドライブ技術／日本精工のホイールハブモータはなぜ変速機付きなのか？	32人
2月7日	燃料電池車への Full SiC 適用事例の紹介と今後のワイドバンドギャップ半導体への期待／次世代パワー半導体使いこなしのための実装技術	31人

(イ) 軽量化研究会 (参加企業22社)

開催日	テーマ	参加者数
6月28日	Honda Super Sport NSX 開発について／「Honda Super Sport NSX の車体軽量化の技術開発について	46人
9月20日	革新的な生産性を実現する新しい炭素繊維製造技術の開発／セルローズナノファイバー強化プラスチック材料による構造部材の軽量化	33人
12月6日	チタンの基礎知識と日本のチタン産業の最新情報／2輪の軽量化とチタン製燃料タンクの開発／最近のチタン応用製品と加工技術	37人
2月21日	モノ不足の深刻化と加工技術の重要性－CFRP(CFRTP) における軽量化のキーワード／マルチマテリアルによる軽量化技術への取り組み／CFRTPの自動車適用の課題と展望	46人

(ウ) 先端材料研究開発コンソーシアムの構築

全国中小企業団体中央会が実施する「ものづくり中小企業・小規模事業者連携支援事業」を活用し、先端材料を開発するコンソーシアムによる研究開発を支援した。

テーマ：企業連携による連続炭素繊維補強熱可塑性樹脂複合材用基材の開発 補助額 9,514千円

イ 技術講演会

自動車関連産業の最新技術動向や新しいビジネス分野の情報提供として講演会を開催した。

開催日	内容	参加者数
11月21日	第1回次世代自動車技術講演会 「2050年を見据えた自動運転と安全について自動車の環境・エネルギー技術への提言」 「自動車社会の将来」～ITS、ICT、IoT、自動運転、他の動向から考える～	27人

開催日	内容	参加者数
1月24日	自動車講演会（ビジネスアリーナ2018） しのぎを削る「自動運転技術の全貌」－Hondaのビジョンと取り組み－	166人

③ 取引拡大の支援

大手自動車メーカー及びTier1メーカー等と新技術・新工法のマッチング会を実施した。

ア 国内における販路開拓支援

(ア) 埼玉県新技術・新工法展示商談会 in SUBARU

スバルを対象に、県内企業が新技術・工法等を提案する技術展示会を実施した。

内容	実績
開催日 6月8日 開催場所 株式会社SUBARU 群馬製作所 (群馬県) 参加企業 展示14社	商談件数 359件

(イ) 本田技術研究所 HRD sakura ニーズ説明会

ホンダが公開したニーズに対して、県内企業が新技術・新工法等を提案するマッチング会を実施した。

内容	実績
開催日 9月29日 開催場所 新都心ビジネス交流プラザ 参加企業 12社	商談件数 12件

(ウ) 彩の国ビジネスアリーナ2018

会場内に「次世代自動車ゾーン」を設け、自動車メーカー及びTier1メーカーと県内自動車関連企業の新たな取引を促進した。また、県内企業の新製品・試作品等を展示した。

内容	実績
開催日 1月24日、25日 開催場所 さいたまスーパーアリーナ 招待企業 Tier1メーカー他 5社 製品展示 7社	商談件数 14件

5 人材育成・情報支援

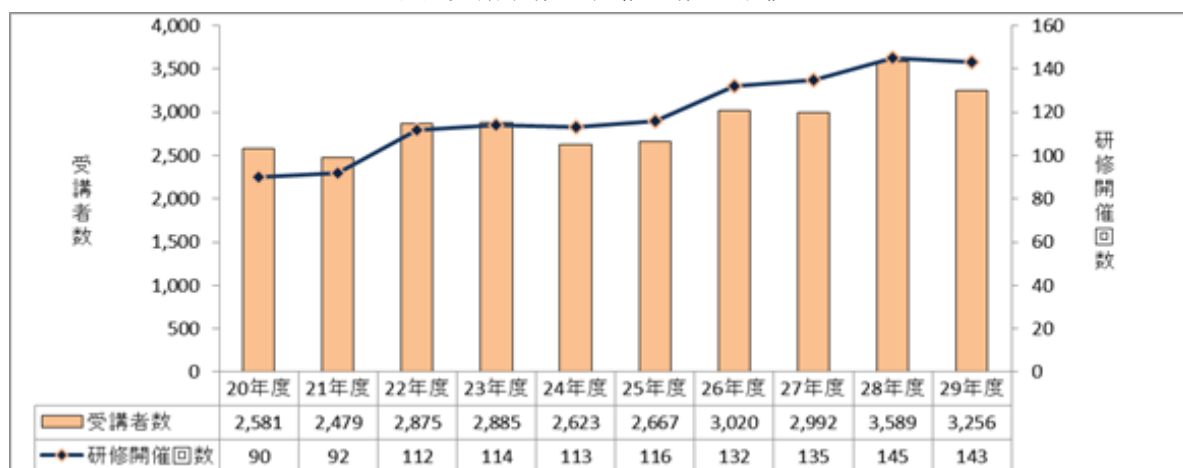
(1) 人材育成

① 研修

経営環境の変化に対応できる人材の育成を目的に、総合的かつ体系的に新入社員から経営幹部までの各層に合わせた総合力強化研修や生産性向上研修などを143回実施した。そのうち、現場改善、契約書の基礎、タイプ別育成をテーマに新規研修を9回実施した。

また、申込者数が定員を超えた機械実技研修については同テーマの研修を2回追加した。

研修受講者数と開催回数の推移



※オーダーメイド出前研修及び通信教育を除く

ア 総合力強化研修

(ア) 新入社員研修

新入社員を対象に、企業人としての自覚を促すとともに、仕事への取り組み方、職場の人間関係、自己啓発の進め方、企業人としての基本行動等について学ぶ研修を19回開催した。

(イ) 中堅社員研修

中堅社員を対象に、その果たすべき役割と責任を認識させるとともに、仕事の管理、問題解決、リーダーシップ等の能力向上について学ぶ研修を10回開催した。

(ウ) 管理者研修

新任管理監督者及び管理監督者を対象に、管理監督者として必要な知識、役割、リーダーシップのあり方等について具体例を通して習得する研修を3回開催した。

イ 生産力向上研修

生産現場における効率化や品質向上、安全作業などの基礎的なスキルを習得する研修を21回開催した。

ウ 実務スキル向上研修

業種業態にかかわらず実務のスキルアップに役立つ知識や技法を習得する研修を41回開催した。

エ 技能研修

県立高等技術専門校と連携し、旋盤操作や切削技術向上、設計図解読など、中小企業の製造現場で働く若手社員を対象にした技能研修を28回開催した。

オ 地域密着研修

5Sといった人気の高いテーマの研修を川越・熊谷・草加の3地域で12回開催した。

カ コンパクト研修

忙しい営業部門や管理職、経営者にも受講しやすいようにテーマを絞ってコンパクト(3時間)にまとめた営業実務に関する研修等を7回開催した。

キ プレミアム研修

より深く参加企業の課題を解決するために定員を少数に限定し、経営力向上をテーマにしたゼミナール形式の実践的な研修を1回開催した。また、講義と工場見学をセットにした5S工場視察研修を1回開催した。

ク 特別研修

(ア) オーダーメイド出前研修

個別企業のニーズに合わせた研修カリキュラムを設計し実施する出前研修を42回(47日間：延べ受講者1,108名)開催した。

(イ) 通信教育

社員の自己啓発及び業務遂行能力の向上を図る通信教育を(株)日本能率協会マネジメントセンターと提携して実施し、40名が受講した。

平成29年度 研修実施実績

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)	
通常研修	総合力強化 研修	新入社員研修	19	34	665
		中堅社員研修	10	17	300
		管理者研修	3	7	97
		(小 計)	32	58	1,062
	生産力向上 研修	生産管理	5	11	127
		現場改善	9	16	224
		品質管理	5	10	129
		設備保全・購買	2	3	55
		(小 計)	21	40	535
	実務スキル 向上研修	ISO	20	37	416
		企業会計	2	4	49
		技法習得	17	19	492
		人事・労務	2	3	56
		(小 計)	41	63	1,013
	技能研修		28	73	233
	地域密着研修		12	12	210
	コンパクト研修		7	7	166
	プレミアム研修		2	3	37
	通常研修 合計		143	256	3,256

分 類		回数 (回)	総日数 (日)	受講者数 (人)
特研 別修	出前研修	42	47	1,108
	通信教育	—	—	40
	特別研修 合計	42	47	1,148
合 計		185	303	4,404

② 明日を担うものづくり人材育成事業

埼玉県教育局等と連携を図りながら、将来のものづくりを担う人材の育成を図った。

ア 第27回埼玉県産業教育フェア

埼玉県教育委員会、埼玉県産業文化センター等との共催により開催した。当日は、企業1社が体験コーナーに出展し、子供たちにもものづくりの楽しさを体験するイベントを実施した。

期 日：11月11日、12日

場 所：大宮ソニックシティ地下1階展示場、鐘塚公園、大宮駅西ロイベントスペース

来場者数：約16,000名

イ 高校生ものづくりコンテスト

県内の工業高校生を対象に埼玉県工業教育研究会が実施する「ものづくりコンテスト」に協賛し、上位入賞者に理事長賞を授与した。

開催日	部 門	会 場
6月10日	旋盤作業	ものづくり大学 (行田市)
6月17日	電気工事	電気工事工業組合会館 (さいたま市)
7月15日	木材加工	日本工業大学 (宮代町)
7月24日	電子回路組立	日本工業大学 (宮代町)
8月 4日	化学分析	東洋大学川越キャンパス (川越市)
8月 4日	測量	県立熊谷工業高等学校 (熊谷市)

(2) 情報支援・ICT活用サポート

① 中小企業情報提供事業

中小企業が直面している様々な経営課題などに関する情報等を収集・分析・加工し、インターネットや情報誌、セミナー等で迅速に提供した。

ア 月刊情報誌の発行

公社事業を広く紹介するのをはじめ、県内の企業紹介や法律、税制、国際化など経営に役立つ情報を幅広く、タイムリーに提供した。

情報誌「アクセス埼玉」の発行 12回

(A4判20ページ 3,000部発行)

イ アクセス埼玉文庫の発行

「現場改善 ムダ取りの基本」シリーズ1～5巻を合計143冊頒布した。

ウ 企業経営座談会の開催

開催日	内 容
11月16日	テーマ：「ICTに関する座談会」 出席者：株式会社光英科学研究所 専務取締役 小野寺洋子 氏 株式会社アイジェクト 代表取締役 戸口儀隆 氏 株式会社アースダンボール 代表取締役 奥田敏光 氏 司 会：公社 ICT活用アドバイザー 石飛朋哉 月刊誌掲載：平成30年1月号

エ 賞与予測調査の実施

県内中小製造業を対象とした賞与予測調査を実施し、その結果を公表するとともに経営情報として提供した。

事業名	実 績	概 要
賞与予測調査の実施	2回	製造業 2,000社対象 有効回答率 夏季19.9% 冬季18.3%

オ 会員優待セミナーの開催

公社会員サービスの一環として、話題の最新情報や中小企業の経営課題にスポットを当てたセミナーを8回実施した。

開催日	テ ー マ	参加者数
8月30日	課題へのアプローチセミナー	27名
9月29日	成長企業が実践している人材活用セミナー	26名
10月30日	業績向上につながるコミュニケーションセミナー	21名
11月30日	コストをかけないセキュリティセミナー	29名
12月12日	契約書活用実践セミナー	42名
12月19日	採用支援ツール活用セミナー	31名
1月26日	ハラスメント防止セミナー	23名
2月 9日	VR活用研修	13名

カ 公社会員等交流事業

公社会員企業相互の交流と企業間ネットワークづくりを促進するため、経営者、後継者、経営幹部が一堂に会する講演会及び情報交換会を実施した。

開催日	事業名	内 容	参加者数
2月23日	公社会員感謝の集い	テーマ：「すぐやることでチャンスをつかむ新しい働き方＝自分を変え、企業を変えよう！オンリーワンを目指そう！」 講 師：久米繊維工業株式会社 会長 久米信行 氏	98名

公社会員数の推移

(単位：社)

	25年度	26年度	27年度	28年度	29年度
公社会員数	1,307	1,316	1,356	1,377	1,413

(平成29年度における入退会の状況)

新規入会	退会	会員数増
84	48	36

キ DVD・ビデオソフトの貸出

経営や技術、人材教育などに関するDVD・ビデオソフト等を整備し、企業への貸出サービスを行った。

事業名	貸出実績	新規購入状況	
DVD・ビデオソフト貸出	219社 延べ617本	18本	製造現場の安全対策、部下育成、ハラスメント、ビジネス講義、管理監督者の安全OJT、成功する採用面接など

② ICT活用サポート事業

中小企業の情報化を促進するため、ICTコンサルティングやICT窓口相談、地域連携ICTセミナー、ビジネスソフト研修等を実施した。

ア ICTコンサルティング事業

県内中小企業をIT専門家とともに訪問し、企業ホームページのアクセス数向上やSEO対策等のテーマで7社（延べ21回）にコンサルティングを実施した。

イ ICT窓口相談事業

中小企業が抱えるICTの課題や悩みについて専門家によるICT窓口相談を4社に実施し、課題解決を図った。

ウ ウェブのお悩みサポート

ウェブサイトの制作者を中小企業4社に紹介し、ウェブの悩みに対応した。

エ 地域連携ICTセミナー事業

商工団体と連携してITセミナーを2回実施した。

開催日	テーマ	参加者数	共催
11月20日	格安スマホのビジネス活用セミナー	15名	廠商工会議所
2月5日	初心者向け動画制作セミナー	26名	本庄商工会議所

オ ICTスキルアップ研修

利用頻度の高いビジネスソフト（表計算・プレゼンテーション・データベース）やインターネットを有効活用するための講座を18テーマ30回開催した。

講座名	回数	受講者数
エクセル関連（7テーマ）	14回	169名
パワーポイント（1テーマ）	1回	16名

講座名	回数	受講者数
アクセスデータベース（2テーマ）	2回	33名
ホームページ作成関連（4テーマ）	5回	71名
デザインソフト関連（2テーマ）	5回	42名
営業力アップ関連（2テーマ）	3回	50名

カ バックリンク支援事業

公社ホームページにバックリンク専用サイトを構築し、中小企業のホームページのSEO対策を支援した。

リンク企業数 1, 112社

③ 公社内ICT管理事業

ア 公社内ICT管理

大宮事務所と北与野事務所間のネットワーク、公社共通企業データベース及びグループウェア（サイボウズ）の管理・運用により、公社内の情報共有を推進した。

イ インターネット情報提供

公社実施事業をより積極的にPRするとともに企業経営に役立つ情報の提供に努めた。

公社ホームページ	アクセス数1, 332, 086件/年
公社メールニュース	配信回数24回（毎月2回） 登録者数3, 568名

6 その他

(1) 投資育成事業

平成16年度に統合した（財）埼玉県創造的企業投資育成財団（^{サファイック}SAFIC）の事業を引き継いで実施しており、地域中核企業投資育成事業の投資先企業2社、ベンチャー企業投資育成事業の投資先企業2社に対して経営支援を行った。

ア 投資先企業等への支援

事業名	実績	概要
フォローアップ事業	17回	地域中核企業14回、ベンチャー企業3回 個別訪問等によるフォローアップを実施

イ 投資概要

（平成30年3月末現在）

事業名	企業数	投資残高
地域中核企業投資育成事業	1社	直接投資 1社 9, 100千円

直接投資：SAFICが投資の可否を決定し、当該企業の社債を直接引き受け、又はSAFICが当該企業の第三者割当増資を引き受ける形式（株式投資）により投資したもの。

(2) その他

① 職員の能力開発

公社職員の専門能力の向上を図るため、各種専門研修や公社実施の研修講座への参加を促した。

② 公社管理運営

海外ビジネススキルの習得を目的として、台湾工業技術研究院へ職員1名を派遣した。

③ 貸与事後処理

設備貸与事業の償却債権について、債務者又は連帯保証人に対して電話又は訪問による継続的な督促を行って回収に努めた。